

イタリアンライグラスの適期播種について

現在本県では、地球温暖化による飼料作物の作付け体系の変化などの問題を抱えています。そこで今回は、乾物収量の増加と作業時間の分散を目的として、県内におけるイタリアンライグラスの播種晩限を予測する試験を実施しましたので、その結果について紹介します。

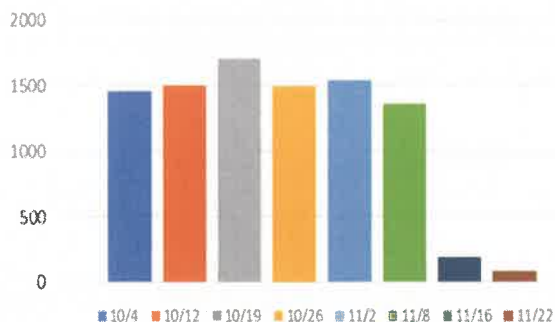
11月中旬以降で収量が激減！

図1 播種時期による収量の差 (令和5年度収量調査平均値)

図1は、当センター(那須塩原市)で実施した播種時期による乾物収量を比較したものです(2023年調査)。

播種時期が11月中旬になると翌年の収量が極端に低下しました。そのため、那須塩原市での播種時期は10月中旬～11月上旬には播種するよう心がけましょう。

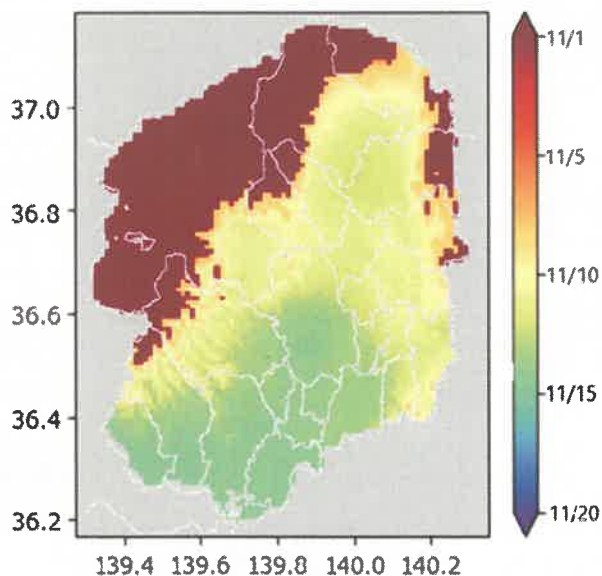


図2 県内における播種晩限予測

図2は、農研機構が開発したメッシュ農業気象データを使用し、イタリアンライグラスの乾物収量が低下しない限界の播種日を推定し、県内の地図にマッピングしたものです。

県南～県央地域では11月中旬まで、県北地域及び標高の高い地域では11月上旬までに播種すれば、安定的に来年の収量が確保されると推定されています。

これまでイタリアンライグラスの播種時期は10月までとされていましたが、近年の温暖化を考慮すると約1～2週間程度の作付け期間の延長が出来ることが示唆されました。

これらの結果を参考に、各経営にあった作付け体系を取り組んでいただければと思います。

従来の作付時期

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
早生									
中生									
中晩生									



推定した作付け時期

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
早生									
中生									
中晩生									

緑色 … 播種時期 茶色 … 刈取り時期